

1. 事業名:

「障がい者における生涯歯科健診へのアプローチ in Iwate」

2. 申請者名:

一般社団法人岩手県歯科医師会会長 佐藤 保  
 担当者氏名 常務理事 前川 洋

3. 実施組織:

一般社団法人岩手県歯科医師会

4. 事業の概要:

岩手県歯は、障がい児者の生涯にわたる歯科口腔保健の充実にむけ障がい児者の歯科保健医療の推進を図ってきた。その中で、障がい児者及び要介護者の歯科保健サービス提供事業を実施し、歯科健診を推進してきた。生涯切れ目のない歯科健診の実施及び歯科保健対策の推進を行う上で、障がい児者の特性に配慮した実施が重要であり、障がい児者を支援する施設や事業所の理解が必要である。

そこで、関係機関と意見交換会を開催した。また、施設事業所への啓発資料を作成し配布を行い、歯科健診を推進するためにモデル歯科健診を実施し、今後の取り組みについて検討をした。

5. 事業の内容:

1. 障がい児・者及び要介護者高齢者等歯科保健サービス提供事業意見交換会、並びに研修会開催  
 障がい者団体、施設団体、行政、大学等と一堂に会し、意見交換会を開催した。歯科保健医療の推進のために啓発活動が必要であることを共有した。地域の施設事業所、支援者を対象とした研修会を開催した。

2. リーフレットの啓発資料作成

障がい者支援施設、障がい者入所・通所施設の施設長、歯科保健担当者に向けたリーフレット「なぜ歯科健診が大切な?」を500部作成し、県内各施設事業所へ配布した。

3. 障がい者の歯科健診(モデル地区)

歯科健診の標準化を図るため、岩手医科大学歯科医療センター障害者歯科の日本障害者歯科学会指導医によるキャリブレーション講習会を実施後、障がい者支援施設、障がい者入所・通所施設2か所の利用者を対象に歯科健診を実施した。

6. 実施後の評価(今後の課題):

1. 歯科健診を中心に意見交換をし、実施状況の地域差やそれぞれの立場の認識を共有することができた。行政から委託された事業が県内各地の施設等で利用され、障がい児者の歯科保健医療が推進されるように関係者の連携がとても重要であることを認識した。

2. 施設事業所等へ障がい児者の歯科健診の重要性を伝えるための啓発資料としてリーフレットを作成し、県内の施設事業所へ配布した。障がい者の歯科保健医療に関する認識は地域差も大きいことからリーフレットを活用し各地区での啓発活動を継続する。

3. モデル地区での歯科健診を実施したことにより、施設事業所では実施にあたり妨げになるものが減少した。このモデル歯科健診を広く紹介し、他の地区、施設事業所でも歯科健診を実施できるように推進する。